



すぷりんぐ

会報 通算第14号 2018年8月発行

川崎桃江さん（会員）がすぷりんぐのロゴを作ってくださいました！



<すぷりんぐロゴの解説>

すぷりんぐのロゴは、4つの障害（身体・知的・精神・発達）と難病や内部障がいなどの5つをイメージした星マークと、すぷりんぐの「す」の文字を配置しました。曲線と光は、かろやかさと人々の輝きをイメージしています。

どんな障害や病気を持っていても、どんな人も楽しく生き、生命の輝きを持っている。すぷりんぐのみんなは、そんな人達の集まりだと思っています。

ごあいさつ

代表 牧野准子



暦も一年の折り返し地点を過ぎ、月日の流れの速さに驚いています。まだまだ先だと思っていた、すぷりんぐの大きな行事である「スピーチマラソン」も無事に終わりました。今回の会報は「スピーチマラソン特集」です。

会場を移しての開催に、少々不安もありましたが、札幌市社会福祉協議会様のバックアップと皆様のご協力や熱意で大盛況でした。心より感謝申し上げます。

そして、ボランティアさんの素晴らしいこと！50名ものボランティアさんが自主的にお申し込み下さり、簡単な指示にも関わらず、的確な動きと配慮で運営を盛り上げて下さいました。やはり、言われて行動するのではなくて、どうしたら相手が助かるか喜んでもらえるかを考えると、おのずと行動に表れるものなのだと思わせて頂きました。想像力って大事なんですね。

来年の開催に向けて、また頑張って準備を進めていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。尚、総会でも意見を頂きましたが、すぷりんぐの運営に何かできることがありましたら、お手伝いや協力して下さい方を随時、募集しています。遠慮なく、事務局までご連絡下さい。

第3回スピーチマラソンが開催されました



報告者：小林亮平さん（身体障がい）

平成30年6月23日、第3回スピーチマラソンが開催されました。前回までの会場だった社会福祉総合センターの大研修室は改修工事のため使用不可で、今回はかでの2.7の大会議室での開催となりました。会場が移ったことでスペースも少し狭くなりました。例えるなら東京ドーム0.075個分の広さが、東京ドーム0.063個分ほどになったと想像してみてください。…よくわからないですよ？つまりはそういうことなのです。なんとなく狭くなったという事はわかりますが、どれくらい狭くなったのかハッキリとはわかりません。そんな感じです。

個人的見解を述べさせてもらえるならば、今までより会場のサイズが3分の2ほど縮小されました。

それと、今回はバザーが禁止です。これも個人的見解なのですが、会場の規制でバザーができないというよりは、端までギリギリ客席でバザーをするスペースがとれないと言った方がしっくりくるような気がします。

それを裏付けるように、前回から定員が変わっていないのですよね。会場は、確実に狭くなっているにもかかわらず。



また、社会福祉総合センターには1メートルほどのステージがあり手話通訳さんと要約筆記さんのスクリーンは壇上で見易かったのですが、今回は、手話通訳さんは仮設のステージ上にいたものの要約筆記さんのスクリーンは床の上で、どちらも見にくかったです。

：会場の風景

中央に仮設のステージがあり、向かって右手が要約筆記さんのスクリーン。

かでの一階ロビーには無料のWiFiスポットがあります。多くの人が集まるイベントでWiFiが使えるかは大きなポイントでしょう。

残念ながら、4階のスピーチマラソン会場までは電波が届きませんでした。
つまり、パソコンやスマホ等の対応機器をかざるに持ち込めば、無料でネットワークにつながるという訳です。今回のスピーチマラソンのボランティアさんの総数は50名、来場者数は200名でした。以上をもちまして、第3回スピーチマラソンの報告書とさせていただきます。
最後に、このイベントに関わっていただいた全ての方に感謝を申し上げます。

※WiFiとは

無線LANのブランド名で、無線LANとは「パソコンなどを無線でインターネットに繋げる技術」のことです。しかし、暗号化等がされていない通信環境では誰かにメールやパスワードを盗み見されるといった危険性があります。

参考文献：WiFiとは？スマホ初心者にも超がつくほどわかりやすく解説 -

<http://www.toha-search.com/pc/wifi.htm>

登壇者：木村裕明さん（内部障害）

「障がい者スピーチマラソン」に参加して

私は後半の部の先頭として登場しました。テーマは「心臓ペースメーカーの話」です。限られた時間10分以内で、いかに自己主張するかなかなか難しい問題でしたが、スピーチの枕に北海道と命名した松浦武一郎の話に関連して、アイヌ差別の問題と障がい者の差別問題を投げかけました。そして「心臓ペースメーカー」の話を手作りの小道具を参考にしてその特徴と日常生活上の注意点を説明しました。短い時間でしたが、少しは分かって頂けたのではないかと思います。
このような機会を与えてくれた「すぷりんぐ」に感謝すると同時に、これからの生き方を風に吹かれた自然体で、どうにかなるさの気持ちを持って、明るく笑顔で生きて行こうと思います。

登壇者：杉山憲一さん（聴覚障がい）

第1、2回スピーチマラソンでは、私はボランティアスタッフ活動をやってきました。講師陣していないのは聴覚障がい者だけです。そのため、今年わたしは還暦になって、聴覚障がい者の手話の理解を広げて行きたいと思って希望しました。トップバッターとして、時間限定というメッセージは合っているか、どうか心配しました。手話は「聴覚障がい」の言葉ですが、手で動かすだけでなく、表情も動作も右手も左手も同時に使って、汗水流して表現することができました。最後に、藻岩山展望台に「幸せの鐘」があります。スピーチマラソンのメッセージしたことを願って、そういう意味ではいろいろ多様性違いということをお互いに認識とし尊重しあうという「共生社会」に向けてますます手話の理解を広げていきたいと願って「幸せの鐘」を誓って鳴らしていました。



スピーチマラソンの感想：鈴木昭子さん（知的障がい）

『第3回スピーチマラソンに参加して』

今回、私自身すぷりんぐの会員になって初めて参加しました。新聞に載っているのを見てずっと行きたいと思っていたスピーチマラソンの当日は、来場者の多さに圧倒されました。10人のスピーカーさんそれぞれの立場から発表があり、聴覚障がいの方からは外見からは分からず、補聴器を着けていても聴こえる人と誤解されてしまい、状況が読めずコミュニケーションと情報障がいがあることを知って欲しいこと。知的、発達障がいの方は、皆さんと同じように物事ができないことと、入院中に障がいを受け入れられるようになった話は、私も知的障がいを抱えているので、わかるなあと共感しました。

視覚障がいの方は2名だったのですが、一部見える方からは見える人用の「ヘルプマーク」があったら、見える人もいることを忘れないでということと、全く見えない人は、他の機能を使って生活していて、モノを作るときは当事者の声を聞いて欲しいという声がありました。

内部障がいの方は2名だったのですが、心臓ペースメーカーのお陰で電池交換をしながら生活していること、臓器移植の話をした方からは、7人のドナーがいて命を繋いでいるというお話があり、ギュッと胸がしめつけられそうになりました。

身体の障がいの方からは、どちらも自らの痛みをユーモアを混じえつつ、時にもう一方は「障がい者は障がい者らしく」という言葉に違和感を覚えたという体験談もありました。

発達障がいの方は、お2人とも精神障がいを抱えているものの、音や光に敏感だったりあいまいな言い方や抽象的なことが苦手で、環境の変化で体調を崩したり、優先順位がつけられずメモや薬のサポートを受けて、普通ってなんだろう？という発言がありました。私も抽象的な事がわからなかったり、イメージがつきにくかったりする事が苦手なので、似ているかな？と思いました。

それぞれ10名のスピーカーさんの苦労や体験を聞いて、刺激や勉強になる事がたくさんありました。全体を通して思ったのは、皆さん誰かのサポートを受けながら、その人らしく生きているんだなという事を感じました。私自身もひとりの知的障がい者として、やっぱり自分らしく生きてみたいと思います。

その為には、色々な人たちに障がいを抱えた人たちの思いを伝え、共感してもらう事が大切な事だと痛感しました。スピーカーの皆さん、ボランティアやすぷりんぐの皆さん、縁を紡ぐ事が出来ました。ありがとうございます。機会があれば、また参加したいです！！



スピーチマラソンアンケートについて

今回のスピーチマラソンでは、約 200 名様にご参加頂き、97 名の方がアンケートに答えてくださいました。その中から一部抜粋して、ご要望や感想を掲載させていただきます。

◆今後どのような障がいを持つ人の話を聴きたいですか？◆

- ・外見から分からない障がいや、発達障がいの人の話
- ・グレーゾーンの人（不便さはあるが診断されていない人）と診断されている人との違いを知りたい
- ・働いてから障がいに気付いた人の体験談、支援施設の方の支援体験談
- ・中学高校など若い当事者のスピーチ
- ・障がいのある人の家族の話
- ・化学物質過敏症
- ・高齢者

◆お気づきの点や改善点などご意見、ご感想をお聞かせください！◆

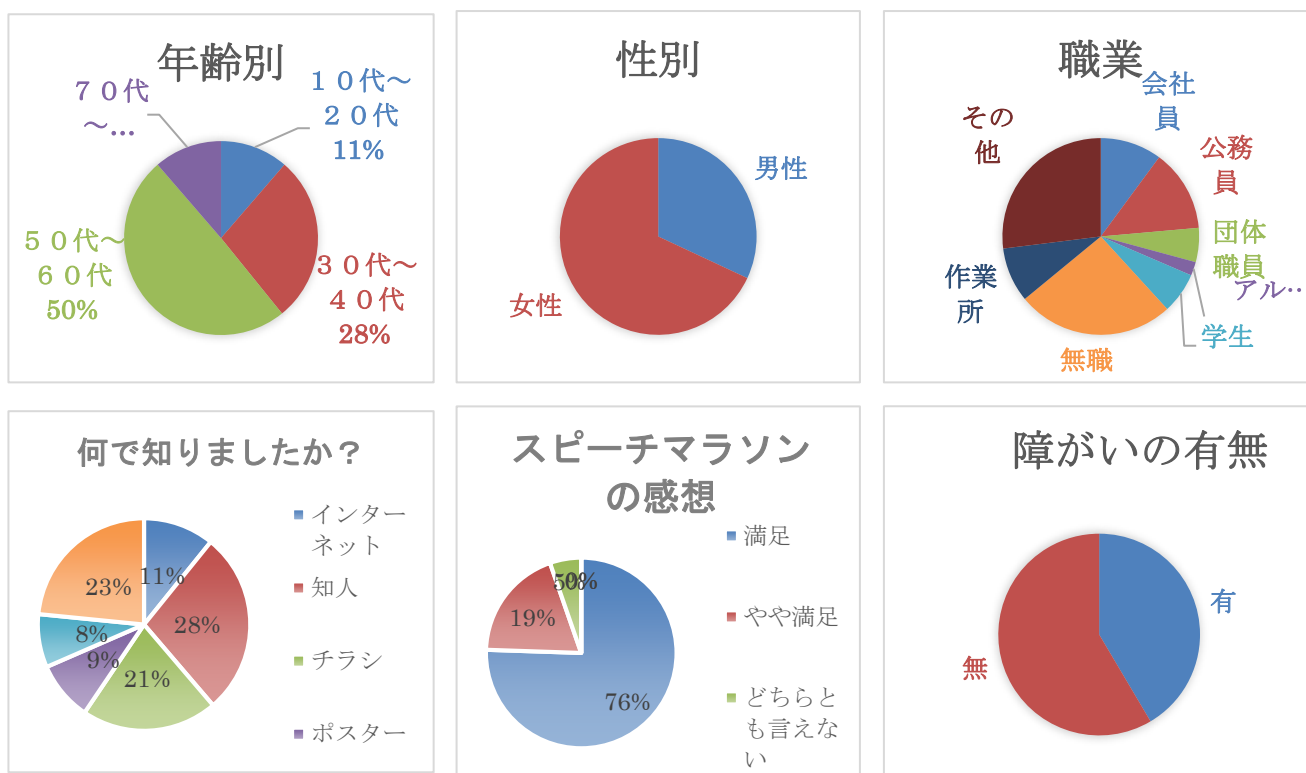
- ・医療系の大学の「障がい当事者論」で、牧野氏の話聴いた、障がいや病気を学ぶ事はあるが、当事者の話を聴く機会がないので今回聴けてよかった。
- ・スピーチの時間が短か過ぎず、長過ぎず伝えたい事がしっかりと伝わってきて、本当に良かったです。自分も当事者ですが皆さんの生き方に強く励まされました。精神の障がいを持ち悩んでいる自分の道しるべになりました。これからも応援しています。
- ・函館から参加しました。地方でもこのような講演があればよいなあと思います。
- ・1人10分は長いと思ったがあっという間でした。
- ・私は全盲ではないので行き場のない感情を共有できてホッとしました。心が少し軽くなりました。
- ・色々な障がいの方のお話が聴けて良かったです。運営スタッフの方にも親切、丁寧に誘導してくださり良かったです。
- ・運営スタッフの方が、親切、丁寧で良かったです。
- ・参加される方の年齢層が若干高めな印象を受けました。今後若年層の方が参加してくれるようになれば、もっと素晴らしさが広まって行くと思いました。
- ・障がいを持つ方が力を合わせ、強い思いを込めて開催していることがしっかりと伝えてきました。素晴らし活動だと思います。行政は障がい者の声に耳を傾け学ぶべきという言葉の重さが社会に広がって欲しいです。
- ・企業や役所の職員（特に幹部）の研修に障がい者のスピーチをどんどん入れて欲しい。
- ・障がい者の方と接点が少ないので、障がい者のある方にどう接して良いか悩みます。何か手伝わなければと、萎縮してしまいます。そんな人への話も聴きたいと思います。
- ・こうした有意義なマラソンは全国に欲しいですね。



- ・ドナー登録がいかに大事かを考えさせられた。ペースメーカーのことを知り、今後スマホを気をつけて使おうと思った。
- ・ヘルプマーク、ヘルプカードを利用しているが未だ補充されていないところが多い。障がい当事者でも存在を知らない人もいて、PR 不足だと思う。
- ・障がい者の方は、とても明るい気持ちをもっているんだなと思いました。

その他、マイクの音が大きすぎて苦痛だった、物品販売があると良かった、避難誘導の案内が必要ではないかなど貴重なご意見も頂きました。

アンケート集計グラフ



来年以降の参考にさせて頂きたいと思います。

アンケートのご協力をありがとうございました。

今年アンケートをご記入頂いた方全員から、スピーチマラソンにまた来たいとの声を頂きました。大変嬉しく、励みになりました。



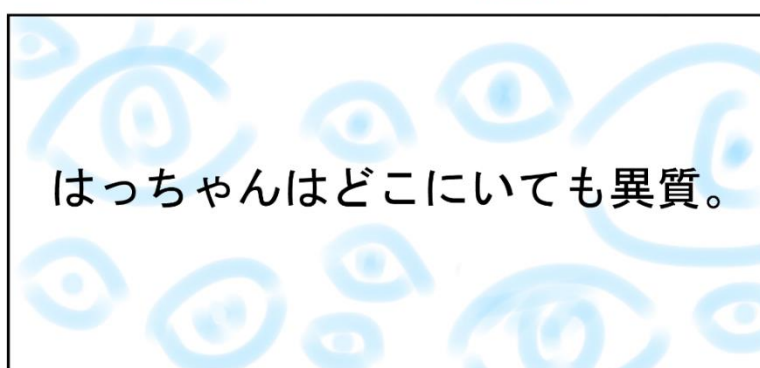
すぷりんぐ会員・青木洋子さん作 4コマ漫画

人の集まる場所では

発達障がいの子、はっちゃんの、生活のワンシーンを4コマ漫画にしてみました。この漫画を通して、発達障がいがある障がい、知ってもらえたらいいなと思います。

目の不自由な方向けに、お話の内容を記載します。

服装も髪型も気をつけてチェックして、言動も気をつけているのに……ちょっと不思議に思われちゃうことがあるのです。



※全ての発達ちゃんに当てはまる訳ではありません。

ブログ「発達ちゃんワールド」

<http://hattatutyworld.blog.jp/>

QRコード



<イラストのご紹介>

今年自閉症啓発デーのために川崎桃江さんが描き下ろしたものです。

(自閉症啓発デー公式ではありません) みんな楽しんで暮らしているイメージです。

30年度 年会費納入のお願い

以前から重ねてお願いをしておりますが、退会希望の方、事情により納入困難な方は、事務局まで必ずご一報下さいますように、お願い申し上げます。

(ご連絡のない方は継続と判断し、未納分の会費をご請求させていただきます。)

【会費振込先】

・北洋銀行 桑園支店 普通 0214039

障がい当事者講師の会 すぷりんぐ代表 牧野准子 (マキノジュンコ)

・ゆうちょ銀行 (記号番号 19090-14138861)

障がい当事者講師の会 すぷりんぐ (ショウガイトウジシャコウシノカイスプリング)

※寄付は随時受け付けております

《編集後記》

▼恒例のスピーチマラソンが無事終了されたとのこと。今回は見に行くことができませんでした。皆さんの記事や写真を見ていると、大成功だったのが伝わってきます。北海道だけでなく全国にこのようなスピーチマラソンが広がるといいですね。

▼文学フリマに行ってきました。老若男女が思い思いに本を売っている姿を見て感動しました。障害がある方の体験記など売るのもいいのでは？すぷりんぐ会員様の体験記集など制作して売るのも楽しいかもしれませんね！ (み)

次号は11月発行予定です。

【お詫び】皆様からお勧めの図書の情報を頂いておりましたが、紙面の都合上次号に持ち越しになりました。ご協力に感謝するとともにお詫び申し上げます。

障がい当事者講師の会 すぷりんぐ事務局 担当：寺地・鈴木

〒063-0604 札幌市西区二十四軒4条3丁目1-12-603 (牧野宅)

TEL 011-895-2585 (寺地) FAX 011-644-0334

■電話での問い合わせは個人宅ですので、常識の範囲内の時間帯にかけることと長電話はご遠慮下さるように、よろしくおねがいいたします。

ホームページ <http://spring-hokkaido.jimdo.com/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/spring2013hokkaido>

メールアドレス spring.hokkaido@gmail.com (H29.5.1より変更になりました)



■障がい当事者講師の会 すぷりんぐのホームページもリニューアルしました。新しい情報も次々にUPしていますので、どうぞご覧下さい。(HP, FB 管理担当 大谷哲也さん)

■今後、パソコンのメールアドレスをお持ちの方には、メールにて会報やご案内を送付させていただきます。経費の都合上ご理解ください。(どうしても紙面でなくてはいけない方は、お手数ですが事務局までご連絡ください)

■一年に一度会報を担当してくれる方を募集します。(作成に慣れるまでサポートしますのでご安心ください。)

Word で作成できる方)